

事実経過

日付	内容
令和4年 6月10日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模接種会場開設準備の中、当該職員が1人でモデルナ社製ワクチン20箱の搬出準備のため、保健センターで保管用低温冷凍庫から移送用可搬型低温冷凍庫へワクチンを移す作業を行う。その際に保管用低温冷凍庫から温度上昇警報が鳴ったが、他の職員に報告せず。 ● その後、当該職員を含む職員3人でワクチンを保健センターから大規模接種会場の保管用低温冷凍庫に搬入
6月11日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模接種会場での接種開始 ※6月10日に搬送したモデルナ社製ワクチン20箱使用開始 ● 当該職員が、予備用低温冷凍庫の使用期限経過ワクチン64箱と保管用低温冷凍庫のワクチン42箱を入れ替えた上で、予備用低温冷凍庫と保管用低温冷凍庫の位置を入れ替える作業を行う。
6月12日(日)	大規模接種会場での接種
6月14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ● 当該職員が福祉保健部長に一連の作業について報告する。 ● 福祉保健部長が市長に報告。市長は、6月10日に搬送したワクチン20箱も含めたワクチンの安全性(有効性)を至急かつ慎重に確認するように指示 ● 以降、当該職員から状況を聴取するとともに、低温冷凍庫の温度管理ログ記録の解析を行い、ワクチン20箱については引き続き使用できるものと市として判断 ● 当該職員は体調不良のために6月14日の夕方から16日まで休暇を取る。
6月17日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ● 当該職員から事情聴取。その後、職場で状況を説明 ● ワクチン42箱について、本人の記憶と保管用低温冷凍庫の温度管理ログ記録の解析の結果が食い違うことから、現場検証を6月20日に行うよう市長が指示
6月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健センターで現場検証を行う。 ● 現場検証ではワクチン42箱は解凍されていない可能性はあるものの、連続して33分間も低温冷凍庫の温度が-15℃を超えている状況があり、また、入替え作業中、当該職員は1人であったため聴取内容の客観的な証明が困難であることから、適正な管理に疑念を差し挟む余地がある旨を市長に報告 ● 市長は、接種の安全を最優先して当該ワクチンの使用を控えると判断。以上を踏まえて対応を進めるように指示
6月23日(木)	市議会会派代表者会議にて報告
6月28日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ● プレスリリース ● 市医師会・市薬剤師会へ当該事案の報告
6月29日(水)	ワクチン関係機関連絡会で当該事案の報告